

独立行政法人国際交流基金 契約監視委員会（令和5年度第2回）

議事要旨

1. 日時：令和5年12月25日（月） 14：00～16：00
2. 場所：独立行政法人国際交流基金 ホールさくら
3. 出席者：
 - （1）委員
渡邊一弘委員長、宮本和之委員、山本裕子委員、井澤めぐみ委員
 - （2）外務省
広報文化外交戦略課 船橋外務事務官
 - （3）国際交流基金（JF）
鈴木理事、平林監査室長、正野経理部長、河井会計課長、審議案件担当者
4. 主要議事
 - （1）再委託案件及び一者応札・応募案件について（報告）
 - （2）個別案件（5件）（審議）
※うち1件は連続一者応札・応募案件フォローアップ点検を兼ねる
5. 主要議事概要
 - （1）再委託案件及び一者応札・応募案件について（報告）
再委託案件7件、一者応札・応募案件7件（うち連続一者応札・応募案件1件、当該案件は審議案件として抽出されているため、審議の中で取組の妥当性を確認。）について、資料に基づき事務局より報告。
 - （2）個別案件（5件）の審議（案件一覧は別紙のとおり）
 - ア. 令和5年度日本語パートナーズ台湾8期の住居にかかる業務委託契約
 - （ア）契約内容：台湾に派遣される日本語パートナーズの住居斡旋業務委託契約。
 - （イ）抽出理由：予定価格に占める契約金額の割合（39.29%）が低い要因・予定価格の算定方法・業務内容（住居にかかる業務委託契約とは何か等）

(ウ) 説明のポイント：令和5年度・NP台湾8期については、派遣期間が約3か月間と例年に比べると短期。台湾では短期間の住居賃貸借が困難という現地事情もあり、前期のNP台湾7期が入居していた物件の多くを令和5年度・NP台湾8期が引き継ぐこととなったため、同一の契約相手方と随意契約することとなった。予定価格設定時は、新規契約の場合を想定し、仲介手数料や差入保証金などの金額を含めていたが、実際の契約においては、多くが継続留保物件のため加算されず、結果的に予定価格に占める契約金額の割合が低く（39.29%）なった。

(エ) 委員からの主な発言：今回は特異なケースということがよくわかった。

イ. 令和5～6年度日本語能力試験リサーチテスト実施及び電算処理業務委託契約

※本案件は連続一者応札・応募案件フォローアップ（点検）対象でもある。

(ア) 契約内容：リサーチテスト（令和5年11月及び令和6年6月分）を実施する上での試験資材（問題用紙、解答用紙、帳票等）印刷、試験実施・運営、電算処理等の委託契約。

(イ) 抽出理由：一者応札の要因・一者応札解消のためにどのような対応を図ったのか

(ウ) 説明のポイント：前回からの改善点としては、仕様書やスケジュールの見直し等の対策を行った。業務の複雑さや規模の大きさ等の要因によりただでさえ候補となり得る業者が少ないなかで、今回はリサーチテストという単発の特殊な試験ということもあり、本テストのためにインフラを整えたりノウハウを備えたりしても、業者にとって今後それらが活かせるかどうかかわからないという状況も一者応札の要因となったのかもしれない。業者からのヒアリングによると、やはり業務の規模が大きい点や人員確保が難しいという声があった。次回入札に向けて、更なるスケジュールの見直しや、新たな企業の情報収集や関係づくりを積極的に行い、応札者の拡大に取り組んでいく。

(エ) 委員からの主な発言：もし今後もこのようなテストが実施される可能性がある場合、業者も事前に計画をある程度把握しているほうが入札参加にも繋がるように思う。再委託の金額も大きく、中でも当日の試験監督の日当など実費の部分が再委託率を高くしていることがわかったが、人件費の金額等の妥当性については、説明が付くようにしておくのが良いだろう。

連続一者応札・応募案件としての取組は妥当であると判断する。

ウ. 「いろいろ日本語オンラインコース」の新規言語版追加業務委託契約

(ア) 契約内容：「いろいろ日本語オンラインコース」のウェブサイト及び練習コンテンツアプリにベンガル語版及びラオス語版を新規追加するにあたり、コースサイトへの2言語（3レベル）のページ追加、アプリへの2言語の追加、要件定義の確認及び設計、追加言語ページのテスト・導入、サイト保守業者との連絡・調整等の業務を委託。

(イ) 抽出理由：一者応札の要因・業務内容（何を追加したのか等）

(ウ) 説明のポイント：一者応札となった理由としては、ラオス語やベンガル語の文字に対応できる業者が限られていたことが大きい。ただ、こういった状況を見込んで、候補となりそうな業者の情報を収集し声掛けを実施、公示期間を52日間と長く設け、面接や打ち合わせのオンライン対応など様々な改善は図っていた。

(エ) 委員からの主な発言：今回の落札業者は同コースを制作した業者と同じ業者ということで、今後も同契約相手方が有利的になる印象である。妥当な理由があるのであれば随意契約を結ぶことも一つの考え方だとは思いますが、今後もし現行の契約相手方が業務を請け負えなくなった際に、次に候補となる業者を見込んでおく必要があるだろう。その意味でも、入札を実施することで、より多くの業者に検討してもらう可能性を作っておくことは重要だと考える。

エ. 海外巡回展「現代日本デザイン100選」にかかる展示作品及び什器等の国際輸送業務委託契約

(ア) 契約内容：海外巡回展「現代日本デザイン100選」に出品される展示作品及び什器等の国内集荷、製函、梱包、輸出通関、国際輸送業務一式を委託。

(イ) 抽出理由：随契理由・業務内容（他の輸送業務との異同等）

(ウ) 説明のポイント：一般競争入札を実施したが、残念ながら応札者なしの入札不調となった。再入札を実施するには時間が限られており、最終的には仕様書を一部変更（集荷時期の変更）すれば契約可能という契約相手方と随意契約を結ぶに至った。

(エ) 委員からの主な発言：どんな案件でも入札不調のリスクに備え、入札のスケジュールを前倒しで計画すべきだっただろう。

オ. 現代美術キュレーター招へい事業にかかる国内接遇業務委託契約

(ア) 契約内容：海外から招へいした学芸員の日本国内視察旅行にあたり必要な宿泊先、移動手段、食事、エスコート、施設入場料等の手配に係る業務

を委託

(イ) 抽出理由：一者応札の要因・業務内容（他の接遇業務との異同等）

(ウ) 説明のポイント：一者応札となった理由としては、入札公示から説明会参加、技術提案書提出までの期間が短く、公示期間がお盆の時期にかかってしまったこと、また事業の実施が11月で、観光シーズンと重なっており旅行代理店内の人員確保が難しかったことが挙げられる。また、事業の特性上、招へい人数が5人前後で少なく、かつ柔軟な対応を求めることもあるため、業者にとってはあまり採算性の高い業務ではないのかもしれない。

(エ) 訪日者数も増加する中で、今後はスケジュールを前倒しで進めていく必要があるだろう。また、コロナ禍において業者が縮小し、訪日観光客の増加に追い付いていないということで、予定価格の積算方法も更新していく必要があるかもしれない。

以上

令和5年度第2回契約監視委員会:審議案件一覧

	契約名称	契約の相手方	契約方法	契約金額	抽出理由・点検内容	担当部署
1	令和5年度日本語パートナーズ台湾8期の住居にかかる業務委託契約	Hetai Real Estate Com., Ltd.	随意契約	4,850,904 円 (TWD1,070,840)	○ 予定価格に占める契約金額の割合(39.29%)が低い要因 ○ 予定価格の算定方法 ○ 業務内容(住居にかかる業務委託契約とは何か等)	日本語パートナーズ事業部 事業第1チーム
2	令和5~6年度日本語能力試験リサーチテスト実施及び電算処理業務委託契約	共同印刷株式会社	一般競争 (総合評価)	91,264,173 円	○ 一者応札の要因 ○ 一者応札解消のためにどのような対応を図ったのか	日本語試験センター 試験制作チーム
3	「いそどり日本語オンラインコース」の新規言語版追加業務委託契約	株式会社ブレイン	一般競争 (総合評価)	21,670,000 円	○ 一者応札の要因 ○ 業務内容(何を追加したのか等)	関西国際センター メディア開発チーム
4	海外巡回展「現代日本デザイン100選」にかかる展示作品及び什器等の国際輸送業務委託契約	ヤマト運輸株式会社株式会社	随意契約	19,347,445 円	○ 随契理由 ○ 業務内容(他の輸送業務との異同等)	文化事業部 美術チーム
5	現代美術キュレーター招へい事業にかかる国内接遇業務委託契約	JTB グローバルマーケティング&トラベル	一般競争 (総合評価)	8,681,662 円	○ 一者応札の要因 ○ 業務内容(他の接遇業務との異同等)	文化事業部 美術チーム